

支援プログラム

(別添資料1)

事業所名 タイムこどもデイサービスりずむ

作成日 令和 7 年 3 月 12 日

法人理念	社会福祉法人たいむ共生会は、ハンディキャップに「ハロー」と言えるように、障がいを持つことが辛いことばかりではなくたくさんの喜びや多くの学びがあることを知り、障がいがあることで社会的な不利益を受けない『ノーマライゼーションの精神』が生きている地域社会づくりをめざしています。障がいがあっても地域の中で当たり前暮らし、働き、余暇を楽しむことのできる社会とは、子どもも女性も高齢者もすべての人が自分らしく人間らしく、安心して生活することのできる『共生社会』であるはずで、そんな社会を創っていききたいと思います。			
支援方針	障害児が「自立＝自らの人生の主人公として生きていける人になる」ことを最終目的としながら、まずは当該事業所が「居場所」になり、友達・支援員との「かかわり合い」を通し育ち合い、「心身の成長、自主性・社会性の醸成」ができるよう、5領域「健康・生活」「感覚・運動」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいた支援・活動を行います。			
営業時間	平日 14時 30分から 休日 12時 30分から	18時 00分まで 18時 30分まで	送迎実施の有無	あり
活動内容	ねらい	内容	5領域	項目
体調確認	基本的な生活スキルの習得 自立支援	来所時に検温や手洗いをを行い、基本的な衛生観念を身につけるとともに、自身の体調確認ができるように促しています。	「健康・生活」	・基本的な生活スキルの獲得 ・感覚や認知の活用
着替え	基本的な生活スキルの習得 自立支援	衣類の着脱などが自分で行えるように支援しています。	「健康・生活」	・基本的な生活スキルの獲得 ・感覚や認知の活用
排泄	基本的な生活スキルの習得 自立支援	定期的なトイレへの誘導や、排泄の仕方などを伝え、習慣化できるように支援しています。	「健康・生活」	・基本的な生活スキルの獲得 ・感覚や認知の活用
畑作業	食育	収穫した野菜でおやつ作りを行い、食物を育てる楽しみ、食べる楽しみを経験する機会を作っています。	「健康・生活」	・健康の増進
運動	大きく体を動かし体の使い方や体力向上を図る	ストレッチ・ダンス・ボール遊び等。 室内での運動や、公園などの遊具で体を動かし体力増強を図ります。	「感覚・運動」	・姿勢と運動動作の基本的技能の向上
工作	細かい作業を通して 集中力や手先の器用さを養う	段ボール工作や折り紙等。 ハサミやカッター等の道具の使い方を学びながら集中力や想像力を養います。	「認知・行動」 「運動・感覚」	・感覚 認知の活用 ・認知や行動の手がかりとなる概念の形成
音楽	発語練習 音楽を通してのコミュニケーション	月に1回から2回、音楽活動を通して発語や情緒の育成を図ります。	「言語・コミュニケーション」 「認知・行動」	・言語の形成と活用
体験学習	公共の場でのルールを学ぶ	電車・バスを使つての外出・近隣児童館の利用・買い物体験等。 公共施設を利用し、社会のルールや適切な行動を学びます。	「人間関係・社会性」 「言語・コミュニケーション」	・集団の参加への支援
おやつ作り	基本的な生活スキルの習得	スタッフとともに材料の買い出しや調理活動を行い、集中力や指先の細かい作業を行います。	「認知・行動」 「人間関係・社会性」	・集団の参加への支援
集団運動	体力づくり 集団行動への参加	公園などに出かけ、鬼ごっこやしっぽ取りなどを行い、体を動かし体力増強を図ります。	「感覚・運動」	・姿勢と運動動作の基本的技能の向上 ・集団の参加への支援
ボール遊び	体力づくり 体の動かし方を学ぶ	室内や公園などでボールを使い、体力増強や体の動かし方を学びます。	「感覚・運動」	・姿勢と運動動作の基本的技能の向上
トランプ・カードゲーム	共同遊びへの移行	スタッフと1対1のゲームや、複数人の利用者、スタッフを交えながらのゲームを行い、ルールの把握やコミュニケーションの取り方を学びます。	「人間関係・社会性」 「言語・コミュニケーション」	・一人遊びから共同遊びへの支援 ・集団の参加への支援
家族支援	* 定期的な面談の場を設け、支援方法等について連携していきます。 * 事業所と、ご家族様だけでなく、学校とも連携していきます。			
移行支援	* 小・中等部の利用者様には、中・高等部に向けての準備を支援していきます。 * 高等部の利用者様には、就労場所や作業所など次のステップに向けての準備を支援サポートしていきます。 * 他事業所併用の際の調整、相談。各関係機関(学校、相談支援、他の放課後デイサービス事業所)と連携を行い、情報共有を図っています。			
地域支援・地域連携	* 近隣住民との交流。年に一度、「はぐらのアート展」を開き、活動内で制作した作品発表の場を提供しています。 * 地域の催し物などを通してコミュニケーションを図ります。(まつりやイベント等) * 自事業所以外や学校、病院、相談支援、行政などと利用者様に対する連携や調整、支援方法などを相談します。			
職員の質の向上	* 法人内での研修や外部の方をお呼びしての講習会などを行い、スキルアップに努めています。 * 月に一回行われている全体会議での話し合いや研修だけでなく、日常の職員でのミーティングなどで共有しさらにスキルアップできるような研修会を行っています。 * 安全衛生委員会・BCP・虐待防止委員会・身体拘束適性委員会・専門委員会での研修を職員に共有して知識や理解を深めています。 * 埼玉県放課後連の作成した研修動画を視聴して、多方面の研修を行っています。 * 強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)の資格を取得できるよう法人で取り組んでいます。			
主な行事等	* 節分・夏祭り・クリスマス会など。同法人内の別事業所と合同でイベントを行い、交流を行っています。 * 夏休み、春・冬休みでの公共施設や公園・アスレチックなどへの外出、プラネタリウム見学、工場見学等を実践します。 * 保護者会を開催します。			